

丹後半島「伊根撮影会コンテスト」 最優秀賞は中村幸子作品

去る 4 月 13 日～14 日 (土・日) に行われた丹後半島・伊根の舟屋撮影会の作品コンテストは、7 月第 2 例会 18 日の午後開催、撮影会に 10 名参加されたうち 9 名が作品を出品されました。皆さん、せっかく撮影会に行ったのだから何とか作品にしたい、との思いが伝わってくるような良い作品が集まりました。

■上映順はくじ引き；コンテストの上映はくじで順番が決められました。

■採点方法；一番良かったという作品を 1 位 (3 点)、次によいと思った作品を 2 位 (2 点) に、その次の作品を 3 位 (1 点) に、評価された作品番号を記入し、無記名で投票。もちろん自作を 1 位にしてもかまいません。出席者、本日は有効投票者数 14 名 (途中から参加者は入れず)

■上映と採点；司会は合原会長で、一作毎の評はなし、次々と上映した後投票を終えました。さて休憩後の採点結果は次の通りとなりました。

■コンテスト結果

- 最優秀賞 (19 票) 姉弟が育んだ赤米酒 9 分 29 秒
- 優秀賞 (14 票) 伊根・潮騒 7 分 40 秒
- 秀作賞 (10 票) 伊根再旅 (ふたたび) 9 分 50 秒
- 秀作賞 (10 票) 丹後の海 7 分 50 秒
- 努力賞 丹後半島・伊根の印象 6 分 10 秒
- 〃 丹後紀行 10 分 00 秒
- 〃 伊根湾の舟屋巡り 6 分 48 秒
- 〃 丹後半島・伊根探訪 13 分 35 秒
- 〃 京都与謝郡伊根町 8 分 30 秒

■表彰式；以上の結果に対し合原会長より全員に記念品 (BD ディスク) を贈呈、拍手が送られた。撮影会作品は参加して作品を作る楽しみで、作品の良さを競い合うのが目的ではありませんが、刺激にはなると思います。上位入賞者作品は公開映写会出品候補となります。



8 月例会のお知らせ

■第 4 土曜 24 日 18 時より、難波市民学習センターにて開催。会場は冷房が効いていますのでご注意を。楽しい集いにどうぞお越しください。

撮影会作品講評

会長 合原一夫

今年の丹後半島・伊根撮影会の作品を作られた方々、誠にご苦労様でした。おかげで撮影会に参加しなかった者も、行った気分となり楽しい気分になりました。また、この企画、ロケハン等担当された高瀬世話役に厚くお礼申し上げます。

さて、コンテストの結果、最優秀賞に選ばれた中村幸子作品「姉弟が育んだ赤米酒」は、多くのカットから「酒造り」にテーマを絞られ、インタビューを重ねて姉弟が助け合って酒造りに取り組んでおられる様子を描かれたのが、テーマが分散して焦点が合わないことが多いなか、テーマを絞った分だけ見る人に判りやすく共感を得たのだと思います。惜しむらくは、一泊二日の撮影会の撮影だけでは工程が描き切れないので、これを機会に再び現地を訪れられ、更に奥行きのある作品にしたら、きっとよりすぐれた作品になる筈です。

優秀賞となった関剛作品「伊根・潮騒」さすがに関さんしか作れない関映像の世界でした。作者はコンテスト当日、白内障の手術で欠席されていたので、もし出席されていて、ご自身の投票権を行使されていたらトップ賞だったかもしれません。最初の場面で赤い服の女が海を遠く見つめるシーンは印象的でした。次に橋が回転する場面、あれは伊根ではなく天橋立ではないか、と題名の伊根ではないという指摘をする声もあったが、この作品にはそういうことは重要ではなく、いかに映像詩としてカットを積み重ねるかが、この作品のポイントだと思います。潮騒の音をじっくり聴かせる音の表現は、この作品にぴったりでした。少し違和感を抱いたのは、新井崎神社で急に色が紫になったり妙な幻想的になったことですが、この神社にまつわる伝統を知っていない人には、少し違和感があります。せっかく舟屋の印象的な映像美と潮騒の心地よい響きに癒された気分が、ラストでどんでん返しをくらった感じで、見終わって「何だ、今のは」となりました。ラストの新井崎伝説は、それはそれで一本作ってほしいものです。

高瀬作品「伊根再旅（ふたたび）」、今から40年前にとられた伊根のシーンと重ねて、現在の伊根を撮られています。ねらいはよかったが40年前の映像が短く、特徴あるカットの無いまま現在の伊根とを重ねられています。40年前と何が変わっているのか変わっていないのか、はっきりさせて見る人に訴えてほしかったと思います。江村作品「丹後の海」、岡本作品「丹後半島・伊根の印象」、宮崎作品「伊根湾の舟屋巡り」、中川作品「京都与謝郡伊根町」、いずれも精力的にあちこち行かれて撮影され纏められていますので、見る人にどんな処に行ったかよくわかります。しかし素材はいっぱいあるのに料理のポイントが一つ掴めきれていない感じがしました。

何か一つでも特に印象に残ったもの、感じたものをもっと重点的に絞ったほうが散漫にならずに見終わった後の印象が深まったはずです。進藤作品「丹後半島・伊根深訪」よく歴史を調べて描いていますので、新崎神社、徐福伝説あたりを単独の作品にするのも一つの方法かもしれません。紙本作品「丹後紀行」過去に撮られた祭りのシーンを入れられ印象を深められました。



課題コン

「望」(のぞみ) は作っていますか

9月第2例会でコンテストが行われる課題コン「望」の制作は初めていますか。今年の課題は難しいと尻込みして いる方もいらっしゃると思いますが、「望」の付いた題名なら何でもよいので、何か考えられませんか。飼っている犬や猫の名が「望ちゃん」だったり、近所の娘さんが「望美さん」だったり、田園風景の「望郷山河」、望みがかなった話、宝くじに望みを、託してだったり、望遠鏡の彼方にある日蝕の記録だったり、

台湾中部を縦断する山岳道路途中3000mを超え険しい峡谷を手彫りで4年間 足らずで完成。この道路開通目的は軍用です。

(書記コメント)

毎回海外作品を持参されるので、すごい人だなと思っていました。今回も普通の旅行者では撮れない独特のシーンが多く、興味深く 見せて頂きました。

(会長コメント)

ほとんど日本人が知らない史実を実感させ、かつ雄大な自然景観の中を旅されてきた貴重な映像である。山本さんだからこういう作品ができるという見本だ。

4、田んぼラグビー BD

高瀬 辰雄 7分50秒

(作者コメント)

京都福知山で5年前に始まったと言われる田んぼの中のラグビー。全国に広がりつつあるが京都市内では6月16日に伏見向島で行われた。撮影には長靴、泥除けカバーなどが必要と痛感しました。泥んこの笑顔が 絵になる。

(書記コメント)

理屈抜きに面白く拝見しました。泥んこの顔のアップ、大人や子供が 一体となり真剣にプレーしている姿が何とも微笑ましく見せて頂きました。

(会長コメント)

何ともすごい泥田でのラグビー試合だ。出演者の声(インタビュー等)があればもっと実感が増したと思う。

5、1989香港 BD

堀 皓二 7分00秒

(作者コメント)

香港返還の2年後の1989に旅行しました。一国二制度のお蔭で市民の表情も明るく楽しい数日を過ごしました。今年6月香港で200万人デモが起きました。早速当時のビデオを引っ張り出し新聞やニュースビデオを取り入れ制作しました。

(書記コメント)

香港のデモの件は未決着ですが、ものが言えない時代が到来するのではと 不安を覚えながら制作しました。

(会長コメント)

1989とは西暦で、元号だと平成元年になる。この頃お兄さんの勤め先香港に旅行された記録に、最近の令和時代になって香港の抱える問題を重ね合わせて作られた作品のようだ。内容をもっと制作意図を強調して纏められたら、更に良い作品になると思う。このままでは狙いが絞り切れていないように思う。

以上、例会を終え二次会場の喫茶店に有志が集まって映像談義に華を咲かされました。

7月例会レポート

台風が接近する中、幸いにも直撃は免れた土曜日夕方の通常例会開催日。

天候不順にも関わらず14名の参加と11作品を観ることができ、皆様の創作意欲を感じました。

- 運営担当：司会 進藤、書記 高瀬、映写 岡本、記録 江村、受付兼照明 森下、中川の各氏
- 出席者：江村、岡本、紙本、合原、進藤、高瀬、中川、中村、華岡、前田、宮崎、森下、森田、山本の14氏

上映作品(コメントは作者)

1. ある刀工 BD

前田茂夫 6分58秒

(作者コメント)



丹波立杭焼の里で日本刀鍛錬場を営む刀工を描いたもの。人間ドキュメンタリーにはならず、かといって刀の出来るまで作品にもならず、絵画的な中途半端な作品に終わりました。

2. 西濃鉄道市橋・昼飯線 B D

紙本 勝 12分20秒

(作者コメント)

西濃鉄道の市橋線は現役と廃線区間があって、1日3回程の貨物列車の通過に出逢い、昼飯線ではレールの残った跡を歩いた先でレールの撤去作業に、終着駅跡の整地作業等、今迄にない風景で、歩いた甲斐がありました。

(会長コメント) 廃線跡をコツコツと歩いて撮影されている紙本さんには敬服です。石灰石を運ぶ貨車が珍しい姿をしており、興味が湧きました。



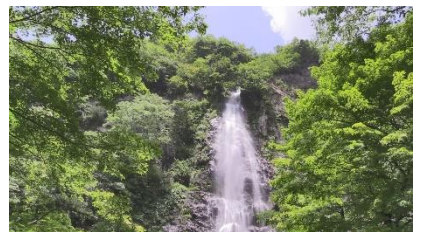
3. 天滝と蚕 B D

江村一郎 8分

(作者コメント)

兵庫県養父市の天滝は落差98mと県内最大の滝で、その下流に蚕の神様といわれた大屋町生まれの上垣守国を顕彰した記念館や、かいこの里交流施設があります。撮影で苦労したのは蚕の里から天滝が見えるシーンを3回通ったことです。

(会長コメント) むかし懐かしい蚕さんの姿に接し、蚕を自宅で飼っていたのを思い出しました。ガイドさんの説明がよく判りました。桑の苗木が鹿に喰われる等の話は山村の実状をよく表わしています。



4. 真田まつり B D

岡本至弘 12分15秒

(作者コメント)

真田の隠れ里、九度山では毎年5月、昌幸、幸村を偲んで真田まつりが盛大に行なわれる。真田庵では供養が行われた後、出陣太鼓が打ち鳴らされ、昌幸以下に扮した武者行列が町中に行く。未完成ですが、ナレーションを入れて作りました。



5. 但馬、中瀬鉱山を歩く B D

進藤信男 13分50秒

(作者コメント)

但馬(兵庫県北部)は現在の豊岡市日高町阿瀬金銀山、今回取材した養父市中瀬(なかぜ)金山等、明延(あけのべ)、神子畑(みこばた)、生野に連なる鉱山地帯。但馬は「かねほたる里」と呼ばれた所だ。多くは戦国時代にこの地を治めていた守護大名、山名宗全(そうぜん)の頃から注目され始めたところ。昭和の中頃に採掘を中止した中で、唯一現在も関連設備が稼働している中瀬鉱山を取材した。町中で石臼を使って金の精錬をするというユニークな金山であった。



6. 仏独国境に行く B D

山本正夢 7分50秒

(作者コメント)

戦前フランスに築かれたマジノ線、ドイツのジークフリート線、今も田園の中に廃墟として残っています。一部は内部も公開されていますが、今回は時間が合わず入れず、しかしながらドイツでは特別公開日に運よ



く入れました。

(会長コメント) 山本さんはいつも誰も行かないところを旅されて楽しませて頂いております。今回は第二次世界大戦の跡を旅されてきました。当時としては大変な工事で軍事境界線と要塞を作っていたことをしのばせてくれました。貴重な旅の記録でした。

7. モニュメント・バレー **BD**

華岡 汪 **11分**

(作者コメント)

モニュメント・バレーはアメリカのユタ州とアリゾナ州の境にあって、深い溪谷や山間台地が点在する独特の地形。トーテム・ポールなどの切り立った岩や、様々な形の巨大な岩など独特の風景が見られる。2億7000年まえの地層が風化、浸食し形成されたといわれる。西部劇のロケ地としても有名。自然が造り出した造形と色彩による美しく壮大な風景は観光客を楽しませてくれる。



8. ほんまもんへの拘り **BD**

中村幸子 **10分22秒**

(作者コメント)

今の時代、手間の掛かる昔ながらの栽培方法に拘る九条ネギ農家がある。そこには家族全員が取り組む懐かしい昔の姿が残っていた。
(会長コメント) 九条ねぎのことをよく調べて作られており、よく出来た作品だと思います。



9. 祇園祭・長刀鉾 **BD**

高瀬辰雄 **11分50秒**

(作者コメント)

祇園祭の長刀鉾の鉾建から巡行までをまとめた作品。今年、数カット撮り直し、時間を3分ほど短縮し再編集しました。祇園祭山鉾巡行は観光客が増え、通行規制も厳しくなり、年々撮影するのが難しくなっています。



(会長コメント) 一般の人ではとても撮れないカットをふんだんに撮られています。聞けば5年掛りの撮影だそうで、京都にお住まいだから、じっくりと撮影できたものと思います。今年の秋のOMCフェスティバル候補作品となりました。

10. 「石像」と「斑蓮」 **BD**

中川良三 **12分**

(作者コメント)

河内長野には珍しい神仏習合の名残で赤阪神社境内に興禅寺がある。夏に咲く斑蓮(まだらはす)と石像群が見どころとなっている。ただし石像群には何か意味合いがありそうなので調べてみると、興禅寺(霊鷲山)には釈迦牟尼佛が祀っておりその周りを取り巻くのが石像群(羅漢)でマカ印度にある釈迦の聖地を再現したものとか。



11. 四季・美瑛 **BD**

合原一夫 **9分48秒**

(作者コメント)

今まで美瑛の春、夏、秋、冬編と作品を発表してきたが、今回はその総集編ともいべき「四季・美瑛」としてまとめた。平成14年作。美瑛の自然の良さが伝わってくると感じてもらえれば幸いである。

